

平成 28 年度 厳冬期の知床五湖エコツアー事業実施報告

1. 事業名

「厳冬期の知床五湖エコツアー」事業

2. 事業目的

厳冬期における知床の自然の魅力や価値を多くの人に伝えることや冬期におけるエコツアープログラム及び自然ガイド事業の充実を図り冬期の知床への来訪動機を高め、地域活性化を図る。

3. 事業実施主体

主催：「知床五湖冬期適正利用協議会」

事務局：釧路自然環境事務所・斜里町・知床ガイド協議会・知床斜里町観光協会

オブザーバー：オホーツク総合振興局建設管理部、産業振興部商工労働観光課

4. 事業内容変更点

- ①web 予約システムを改善し事務の効率化を図った。(手順関係の変更)
- ②仮設トイレ 1 基を増設し 2 基とした。(1 棟 1 基→1 棟 2 基)
- ③引率指導者への「冬期通行禁止区間の道路使用許可書」の携帯を義務付けた。

5. 事業実施結果

- ・実施期間：平成 29 年 1 月 22 日（日）～3 月 22 日（水） 60 日間
- ・実施日数：57.5 日
- ・中止日数：2.5 日間
- ・利用人数：2,371 人（前年比 111.5%増）（1 日当平均利用人数 41.2 人）
- ・ツアー事業者の実施回数：466 回（1 回平均 5.1 人）
- ・外国人利用人数：1,388 人（全体に占める割合 58.5%）

6. 利用状況

【性別】

男性：1,073（45.3%）、女性：1,298（54.7%）

【年齢】

～20：86（3.6%）、20代：710（29.9%）、30代 696（29.4%）

40代：400（16.9%）、50代：316（13.3%）、60代：131（5.5%）

70代以上：32（1.3%）

【受付方法】

直接：2,049 (86.4%)、ネット：213 (9.0%)、ホテル：102 (4.3%)

案内所：7 (0.3%)

※ネットの内訳⇒日本：58 (27.2%)、中国：93 (43.7%)、香港 25 (11.7%)、台湾：12 (5.7%)

その他：25 (11.7%)

【外国人国籍】

中国：964 (69.5%)、香港：115 (8.3%)、台湾：132 (9.5%)、韓国：72

(5.2%)、シンガポール：31 (2.2%)、不明その他：74 (5.3%)

7. 収支決算状況（協力金による管理運営）

収入 3,556,500 円（協力金 1,500 円×2,371 人=3,556,500 円）

支出 2,294,467 円（五湖駐車場排雪費等 1,000,000 円減額で支出経費削減）

繰越額 1,262,033 円

8. 除雪状況

北海道による試験除雪を実施していただき、除雪状況も非常に良く実施されており、特に問題等は無かった。

9. 前回会議（29.3.9）における本事業の承認について

本年3月9日に開催された知床世界自然遺産地域適正利用・エコツーリズム検討会議において、本事業の3年間（平成26～28年度）の実施報告等を行った上で『平成29年度以降の事業計画』を提案し、一部条件付で承認された。

【承認された提案内容】

- ①通行止め区間は、特例使用許可によりガイド車輛のみの通行とする。
- ②通行止め区間の除雪は、「知床五湖適正利用協議会」による自主除雪で実施する。
- ③園地への立入は、1日150名以下の範囲でガイド付き散策を基本とする。
- ④1日2回（午前・午後）の実施とする。
- ⑤事業内容が大きく変更となる場合は、再度エコツアー検討会議に提案し承認を得る。

【承認に伴い付された条件】

- a. 時限措置（赤岩昆布ツアーの5年のような）は特にない。
- b. 承認された内容に変更が生じれば、再度エコツアー検討会議に諮る。
- c. 植生、利用者意向のモニタリングは、知床五湖適正利用協議会内で議論し適切に継続する。
- d. 出発時の静寂性の維持について、改善に取り組む。
- e. 除雪費用も含めた収支について、持続可能な運営に取り組む。
- f. 静寂性を求めない単なる雪上ウォークをするのであれば、五湖以外の場所での資源開発を検討する。

なお、承認で付された以下の条件については、それぞれ以下の通り対応する。

- ・「c.植生、利用者モニタリング」に関しては、今後、開催予定の「知床五湖冬期適正利用協議会」において協議、対応する。
- ・「d. 出発時の静寂性の維持」に関しては、出来る限り静寂性の確保に向けて努力する。
また、スタート時間の調整等今後検討した中で対応を図る。